

工藝の再結晶

—江戸期工人の軌跡を辿った香道具復元制作—

2011年10月1日[土] ▶ 30日[日]

[会場] 伊勢半本店 紅ミュージアム

東京都港区南青山6-6-20 K's南青山ビル1F TEL.03-5467-3735 <http://www.isehan.co.jp>

[開館時間] 11:00～19:00(ただし最終日は17:00まで) ※いずれも入館は閉館30分前まで

[休館日] 毎週月曜日(ただし月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日休館)

[主催] 伊勢半本店 紅ミュージアム [共催] 十種香箱復元制作委員会

[協力] 公益財団法人 宇和島伊達文化保存会・石川県輪島漆芸美術館・石川県を主とする工芸家諸氏・香老舗 松栄堂

[後援] 石川県 [観覧料] 300円 ※本展観覧料の収益はそのすべてを東日本大震災の義援金として寄付します

「技」を「美」を、そして「心」を倣い^{なら}学び、今に還^{かえ}す

宇和島藩伊達家伝来 十種香箱復元制作プロジェクト





図版 上・中・下:「黒塗御紋散梅に竹文蒔絵香道工具箱」(部分)・公益財団法人 宇和島伊達文化保存会蔵

<併催企画>

■ワークショップ「香道具を愉しむ」

日時: 2011年10月15日(土)
①14:00~15:00 ②16:00~17:00

講師: 山中瑞穂氏(香研究家・宇和島伊達文化保存会評議員)
定員: 各回8名(要予約・先着順)
参加費: 2,000円

■ギャラリートーク(復元制作統括者らによる展示解説)

日時: ①2011年10月1日(土) 14:00~/16:00~
②2011年10月22日(土) 14:00~/16:00~

聴講料: 無料(ただし、観覧料は別途必要)

※各日2回実施。

「技」を「美」を、そして「心」を^{なら}倣い^{かえ}学び、今に還す

宇和島藩伊達家伝来 十種香箱復元制作プロジェクト

「十種香箱」とは、組香に使う道具一式を一箱に納めたものです。香札や
間香炉・火道具・銀葉盤・記録板・香包・折据などが、機能的に無駄な
く収納できるつくりになっています。

江戸時代初期以降、財力や地位を示す大名婚礼調度のひとつとして整
えられた十種香箱。意を尽くし、技を凝らして作られた香道具は、工芸の各
種技法を集めた「結晶」と呼ぶに相応しい品でした。

多分野の、それも精緻な技をもって作られた江戸期の十種香箱を、現代
の工人の手で再現することは可能なか—?

原作の仕様をそのままに写すのではなく、かつての工人が制作に注いだ技
と心、そしてそれらが作り出した美に、倣い、学ぶことを試みた「十種香箱復
元制作プロジェクト」。本展では、その成果をお見せします。

今回、復元する対象となったのは宇和島藩伊達家伝来の「黒塗御紋散
梅に竹文蒔絵香道工具箱」。制作には、石川県を主とする漆工・金工・陶
磁・装潢・彩絵等に携わる工芸家諸氏が当たりました。

異なる分野の工人が集結し、江戸のものづくりの体制に学びながらひとつ
の作品を作り上げていった軌跡を、ぜひご覧ください。



彫金(透彫・線刻・魚々子)のテストピース



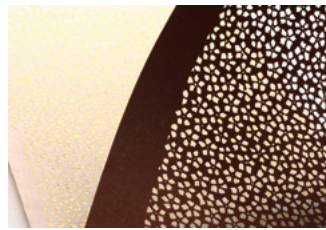
復元制作された水滴



香札に蒔絵するための下絵と置目



復元制作された香札と記録板



折据の表に花文の箔押しをするための型紙



復元制作された折据

【観覧料】300円

※本展観覧料の収益はそのすべてを東日本大震災の義援金として寄付します。

※小学生以下と障害者手帳提示者ならびにその介護者1名まで無料。

【主催】伊勢半本店 紅ミュージアム 【共催】十種香箱復元制作委員会

【協力】公益財団法人 宇和島伊達文化保存会・石川県輪島漆芸美術館・石川県を
主とする工芸家諸氏・香老舗 松栄堂

【後援】石川県

【交通機関】

●地下鉄

東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線
「表参道」駅下車 B1出口より徒歩12分
B3出口(エスカレーター・エレベーターあり)より徒歩13分

●バス

①渋谷駅東口バスターミナル51番乗り場
都01系統 新橋駅前行き「南青山七丁目」下車 徒歩1分
都01系統 六本木ヒルズ折返し「南青山七丁目」下車 徒歩1分
都01系統 東京ミッドタウン前(循環)「南青山七丁目」下車 徒歩1分
②渋谷駅東口バスターミナル59番乗り場
渋88系統 新橋駅前行き「南青山七丁目」下車すぐ

【会場】

伊勢半本店 紅ミュージアム

東京都港区南青山6-6-20 K's南青山ビル1F

TEL.03-5467-3735 <http://www.isehan.co.jp>

